

令和4年度指定管理業務に関する事業報告書（デイ）

施設名 京都市春日丘老人デイサービスセンター

1 施設の管理運営

| |
|---|
| ・介護保険に関わる業務（通所介護事業、介護予防通所事業） デイサービスセンターまで車で送迎し、入浴、食事、機能訓練やレクリエーションを実施する ・介護保険外で高齢者福祉に関わる業務（相談支援業務） 営業日：月曜日～土曜日（年末年始を除く） 受付時間 8:30～17:30 利用定員30名 通常の事業実施地域：伏見区醍醐 |
| （参考）今後実施予定の指定管理者提案内容 |

2 事業実施内容

| |
|--|
| ・介護保険に関わる利用者へのサービス展開 健康状態の確認を行う。入浴、排泄、食事、移動、送迎等その利用者のニーズに応じた必要な介助を行う。身体機能低下を防止するために機能訓練やレクリエーションの援助を行う。 必要に応じて日常生活における介護、相談、助言を行う。 |
| （参考）今後実施予定の指定管理者提案内容 |
| （参考）自主事業内容 夜の配食の提供 |

3 サービス提供状況

| |
|--------------------------------------|
| センター長1名 相談員 介護職員7名（兼務含む） 看護師3名（兼務含む） |
| （参考）今後実施予定の指定管理者提案内容 |

4 市内中小企業への発注に対する考え方

| |
|---------------------------------|
| 給食の原材料の発注や納品を実施。 清掃業務の委託を行っている。 |
|---------------------------------|

5 施設の利用状況（施設の稼働率、利用者数、事業参加者数など）

(1) 実利用者数（実績値）

人

(2) 延べ利用者数（実績値）

件

(3) 収支実績

ア 令和4年度収入状況（単位：円）

| | |
|--------|------------|
| 介護保険収入 | 52,777,436 |
| 利用料収入 | 4,208,483 |
| 委託料収入 | 0 |
| 補助金収入 | 845,325 |
| 寄付金収入 | 0 |
| 雑収入 | 0 |
| その他 | 32,431 |
| 収入計 | 57,863,675 |

イ 令和4年度支出状況（単位：円）

| | |
|-------|------------|
| 人件費 | 58,006,742 |
| 事業費 | 10,690,644 |
| 委託費 | 671,579 |
| 小額修繕費 | 703,450 |
| その他 | 3,815,851 |
| 支出計 | 73,888,266 |

6 施設の利用者満足度の把握

(1) 利用者満足度の把握状況

・個別通所介護計画を作成し、その作成の過程において利用者満足度を把握する。
・利用日ごとに、利用の際のバイタルサイン等を記載した連絡簿を作成し、それに対して意見や要望を記入して頂く。
・介護支援専門員からモニタリング等により、サービスへの期待や要望がもたらされる。

(2) 利用者満足度把握の結果

・数年前に比べて、利用者が減少していることから、利用者の満足度の再評価を行っている。
・食事の9割以上の利用者より好評を得ている

(3) 意見等への主な対応状況

基本的には相談員を中心に対応している。できるだけ早めの対応を徹底するため、全職員が対応できるように目指している。

7 その他特記事項

(1)

コロナ渦においても地域との共生を目指して、醍醐いきいき市民活動センターと共同して、利用者作品の展示等を行っている。

(2)

内外部の研修や勉強会に参加し、介護職員の資質向上に努めている。

8 評価（指定管理者自己評価）

新型コロナウイルス感染症の影響で、年度を通じて利用者数の低迷がみられた。職員補充の困難さによるサービスの質の低下も見られ、性急な改善を図っている。
しかし、今年度に入ってから職員も安定し、新型コロナウイルス感染症も5類に移行して利用者増加が見込まれることから、今後の改善が期待される。
今年度をもって虐待の発生とその再発防止に対する取り組みの経過措置が終了するが、障害者差別解消法に基づく不当な差別の禁止や合理的配慮の必要性を内部研修で実施しながら、尊厳の保持や人格の尊重が維持できるようにサービス提供に努めた。